



左から、小西久美子、山納 洋、栗本智代、富尾博之、弘本由香里、前田章雄

情報誌CEL138号をご覧いただき、誠にありがとうございます。

エネルギー・文化研究所（CEL〈セル〉）は、

1986年4月に大阪ガスの創立80周年を記念して設立され、

2026年4月に40周年を迎えます。

CELは「Research Institute for Culture, Energy and Life」

の略称であり、10年、20年先の社会や価値観、

生活、文化の変化を予測し、企業がそれに適応するための方策を

研究することを目的に設立されました。

この40年間、社会情勢や事業環境が大きく変化する中で、

企業の視点に偏ることなく、

生活者の視点と長期的な視野を大切にしながら、

研究と実践を続けてきました。

今号では、その歩みを振り返りながら、

CELがこれまで果たしてきた役割を改めて見つめ直し、

変わりゆく社会の中での役割や意義について考えていきます。

今後も皆さまからのご意見を大切にし、

社会に求められる研究機関として研鑽していきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。

大阪ガスネットワーク株式会社

代表取締役社長

村田 稔